令和８年度第１回幸手市地域公共交通あり方検討会　会議録（要旨）

日時	令和8年8月22日（土）午後2時00分から午後4時 00 分
場所	幸手市役所第二庁舎2階　第2会議室
参加委員	井野則明、 岸本規生、日下部行雄、中村精二、川島敬一 細川壽江、前田繁実、池澤遼
事務局	くらし防災課長　野川、主幹　落合

１ 開会

２ 市長あいさつ

本市では、将来にわたり公共交通を維持していくため令和6年3月に「幸手市地域公共交通計画」を策定し取組みを進めている。

この一環として、現在運行している市内循環バスについて、あり方検討会の皆様のお力をお借りしながら、その運行形態の見直しを図り、令和9年1月から市内循環バス中央コースの両方向運行及びAIデマンド交通の運行を開始することとした。

本年度、検討会の委員の皆様におかれては、新たに市が運行する公共交通の周知及び利用促進について御検討いただき、より便利で親しみやすい公共交通の実現に向けて、ご協力をいただきたい。

３ 委嘱状交付

４ 委員紹介

５ 会長・副会長選出

会長　：岸本規生委員（各委員からの推薦者なし、事務局案承認）

副会長：細川壽江委員（会長指名）

６ 会長あいさつ

県内トップクラスの少子高齢化の進む幸手市を少しでも住みやすい街にするために、公共交通あり方検討会にご参加いただきお礼申し上げる。

私自身は、あまり公共交通を利用したことはないが、今後はお世話になることが十分に考えられる。この検討会の討議の目的は、交通網の整備に対する維持費の増加に対して人口減などの問題に向き合わないといけない厳しい内容になると思われる。

しかし、住みやすく利用しやすい街にしていくためには、公共交通のあり方を検討し、解決の糸口を見つけることを目的に進めたいと思う。

議事の審議に際しては忌憚のないご意見をいただき進めていく。

7 議事

議事1 令和9年1月から市が運行する公共交通について

（1） 令和9年1月から市が運行する公共交通検討経緯について

資料1を基に、令和9年1月から市が運行する公共交通について事務局から説明。

現在、運行している市内循環バスは、令和4年1月から運行を開始し、当初から5年間の運行を予定していた。このため、令和8年 12 月をもって現在の運行期間が終了することから、令和9年1月以降の公共交通のあり方について検討を進めてきた。

令和6年度から「地域公共交通あり方検討会」を設置し、市民や地域の代表者等から意見を聴きながら検討を行った結果、令和9年1月からは、次のような運行内容となる。

- 市内循環バス中央コースを現在の一方向運行から両方向運行とする。
- 市内循環バス東西コースは廃止する。
- 東西コースに代わる交通手段として、AI デマンド交通を導入する。
- AI デマンド交通は乗合型で、利用者の予約に応じて概ねドア・ツー・ドアで移動できる交通手段とする。

（2） 委員から出された主な意見・課題

①これまでの検討経緯と「あり方検討会」の位置付け

- 事前に公共交通計画を配布頂いているが、更に計画変更があったのであれば、A4で1枚くらいの説明を付けてもらいたい。
- 代表区長を務めていると、いろいろと聞かれる。最低限の情報の共有化を図ることは重要。
- 過去のあり方検討会で出された意見や検討経緯を、現在の委員にも分かるように資料として共有してほしい。

→市：計画の変更という話があったが、今ある計画を変更するわけではなく、令和4年1月から運行している現行の循環バスは、運行の期間を元々5年間で計画していた。令和8年12月をもって運行期間が満了するため、その後の公共交通の運行をどうするかについて検討をしてきたものであり、計画の変更ではない。

令和6年度及び令和7年度のあり方検討会では、令和9年1月以降の公共

交通について、市民の意見を聴きながら検討を進めてきた。その中では、中央コースについて、現在の一方向運行では場所によって目的地まで時間がかかることから、両方向運行とすることで利便性を高めることなどが議論された。また、東部・西部地域については、バス停までの距離や利用状況などから、従来型の循環バスよりも、利用者の需要に応じて運行するデマンド型交通の方が適しているのではないかという意見も出されていた。こうした議論を踏まえ、中央コースを両方向運行として残し、東西コースについては AI デマンド交通へ移行する現在の運行方法につながった。
昨年度の検討内容を整理した資料をできるだけ早く提供する（後日資料提供）。

・　地域公共交通会議で決まった運行計画には、あり方検討会で出された意見が全く反映されていない。あり方検討会の位置づけはどうなのか。

→市：令和6年度、7年度あり方検討会を開催し委員の皆様にご意見を頂きながら検討を進めてきた。そこで話合ってまとめていただいた結果が令和9年1月からの運行につながっている部分は間違いなくある。何も反映されていないことはない。

・　現行の運行計画に基づく運行契約は、変更ができなかったと聞いている。令和9年1月からの運行に関する契約もいったん契約したら変更できないのか。

→市：契約の変更の可否については、契約の相手方となる運行事業者との協議の上決定するものであり、断言できるものではないが、全く変更できないというものではない。

・　将来的な課題として地域公共交通会議にも上げたほうが良いと思うのは、「持続可能」の部分である。あり方検討会の皆さんで使い方という観点からいろいろな事について意見を交換しながら、より良い提案を、公共交通会議にさせていただくとより効果的であり、市民の方にとってもメリットとなる。

② 鉄道駅との接続について

・　公共交通計画の最上位計画にあたる総合振興計画では、誰もが気軽に市内外で利用できる公共交通の利便性と書いてある。幸手市の中には鉄道駅は幸手駅だけであるが、どの駅を使うかはどこの市民だからではなく利便性がすべて。近隣には、杉戸高野台駅や東鷲宮駅・南栗橋駅があるが、市が運行する公共交通は幸手市域から出ない。

・　香日向地区を含めた東武日光線の西側地域は、円藤内などにも人が増えている。バスが通ればもっと人が呼べるのではないか。人口を増やすことを考えると鉄道との接続が重要。市外でも近くに駅があるので、活用すべき。

・　公共交通会議のメンバーには運行事業者や行政として県や国（国土交通省）も入っており、流入人口と鉄道駅との関係といったように大きな視点での検討もされる。一方で、あり方検討会では、どちらかというと市民が日常的に使うバスやデマンド交通などで、いわゆる交通空白地帯をどう埋めながら、いかに多くの方々が利用しやすい様にしていくかという課題をコンパクトにした議論が求められている。そういう議論にプラスαで、あり方検討会の中で、流入人口を増やすには鉄道駅への接続が重要といったような意見があったことも事務局から公共交通会議にきちんと主張していただくことは大切。地域公共交通会議とあり方検討会の使い分けをしてくことがよい。

議事2　令和8年度地域公共交通あり方検討会の検討内容等について

（1）　令和8年度地域公共交通あり方検討会の検討内容等について

事務局から令和8年度地域公共交通あり方検討会の検討内容等について説明。

令和9年1月からの運行方法そのものについては、すでに地域公共交通会議で承認され、運行開始に向けた準備が進められている。

そのため、令和8年度のあり方検討会では、令和9年1月から運行を開始する循環バス及び AI デマンド交通について、市民に広く知ってもらい、実際の利用につなげることを目的として検討を進める。

（2）　委員から出された主な意見・課題

・　愛称を決めるのは賛成だが、それで大きく変わるとは思えない。運賃や経路が重要なファクターになる。
・　実際に利用している。中央コースは、ショッピングモール、病院など市民が日常的に利用する施設を経由することから、運行開始当初から利用者が多かった。特に幸手団地では高齢化が進んでおり、バスを利用する高齢者が増えている。現在の運行では、幸手団地からジョイフル本田やエムズタウンなどへ移動する場合、市役所での休憩や駅を経由するため、目的地まで約 40 分かかる。令和9年1月から中央コースが両方向運行となれば、反対方向を利用することで、バス停1～2区間程度で目的地へ移動できるようになるため、利用者にとって大きな時間短縮になると期待している。
・　幸手団地については、バス停が団地ロータリーへ移動することや、駅へのアクセスが改善されることについて、高齢者から喜びや期待の声がある。
・　データで見ると循環バスはあまり使われていない。黒字化は無理でも、利用者数を増やすには、駅へのアクセスを十分に考える必要がある。
・　行政が取り組む循環バスやAIデマンド交通は、市民サービスの向上が目的であるため、利益がほとんど生じない。

・　市が運行している公共交通の年間の予算はいくらか。また、次期運行ではどのくらいの予算を見込んでいるのか。

→市：現在の市内循環バスの年間予算は約 4,000 万円であり、令和9年1月からは運行方法が変わるため単純比較はできないものの、AI デマンド交通と合わせて年間 7,000 万円を超える規模になる見込み。

議事3 （1）の愛称第1次選考について

事務局から、愛称募集の概要を説明し、選定方法について提案（事務局案を承認）。

市内循環バス及び AI デマンド交通のそれぞれの愛称について、①各委員が5分程度、自分が良いと思う作品を3つ程度選び、理由と一緒に発表。②委員全員で話合い、第二次選考に挙げる作品を市内循環バス及び AI デマンド交通各5作品ずつ選定。

第一次選考結果は別紙のとおり　※最終選考前の情報であるため一般公開しない

8 その他

事務局から、次回以降の日程について、謝金の支払いについて、連絡先（メールアドレス）について、地域公共交通会議の開催について連絡。

9 閉会